

平成22年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		公益社団法人武蔵野市シルバー人材センター						
①	指標名	公共民間受託契約金額			目標値	466,280 (千円)	実績値	429,758 (千円)
	過去の実績	平成19年度	平成20年度	平成21年度	達成率	92.2%	達成状況	未実施・ <u>未達成</u> ・達成
	(単位: 時間)	421,404	433,206	438,032				
	取組内容	<p>※22年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>○事業拡大のために、事業部会と職員により既存発注者である事業所訪問を行い就業開拓に努めた。</p> <p>○普及啓発活動として、センターPRチラシを作成し、全戸配付を2回実施した。</p> <p>他にも、コミセン諸行事への協力、青空市、シルバースポーツ大会、市内一斉清掃等に参加し、センターのPR活動を実施した。</p> <p>○就業の受け手となる会員への就業情報として、月2回の就業ニュースを配付し、多くの会員へ公平に機会を与えた。</p> <p>会員数の増加を図り、入会促進ポスター及びチラシの配付などを実施し、前年度より50名増加し、1,214名となった。</p> <p>○発注者に対する顧客満足度調査と、会員に対する就業意向調査を行った。</p>						
	一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>実績の内訳は、公共184,541千円(前年度184,834千円)、民間245,217千円(前年度253,198千円)となり、公共・民間ともに目標達成には至らなかった。</p> <p>取組みに対する課題として、PR方法と費用対効果の検証、会員のニーズに合った就業開拓等、今後の検討課題である。</p> <p>発注者に対する顧客満足度調査と、会員に対する就業意向調査の分析を行い、事業拡大に向けての活用方法が検討課題である。</p>						
二次評価	<p>契約金額が昨年度よりも下がり、目標も未達成となったのは残念である。就業開拓等を進め、目標を達成することを期待する。</p>							
②	指標名	損益計算書 事業収入 自主事業収入 収益事業			目標値	274,410 (千円)	実績値	245,217 (千円)
	過去の実績	平成19年度	平成20年度	平成21年度	達成率	89.4%	達成状況	未実施・ <u>未達成</u> ・達成
	(単位: 千円)	227,653	238,877	253,198				
	取組内容	<p>※22年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>自主財源を高めるには、事業実績を伸ばすことによる事務費収入の増加と、会員増加に伴う会費収入である。事業実績の拡大を図り、役職員による事業所訪問や、普及宣伝活動を行なった。また、既存発注者(家事援助及び育児支援、植木剪定、除草)へのサービス向上を目的に満足度調査を実施した。受注した就業機会の情報提供として、毎月2回「就業ニュース」を全会員に配付し、事業実績の拡大に努めた。</p> <p>補助金削減による自主財源確保とはならないが、不要不急の支出を抑え次年度以降の財政運営の安定に努めた。</p>						
	一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>会費収入では50名の増加と微増であるが、事務費収入となる事業実績の家庭と企業からの受注が伸びず目標の達成に至らなかったため、更なる実績を伸ばす検討が必要である。</p> <p>支出では不要不急の減額に努め、単年度での黒字決算となった。</p>						
二次評価	<p>今後、満足度調査や就業意向調査の結果を活かして、改善に努めること。</p>							
③	指標名	事務局業務への会員の活用			目標値	5,120 (時間)	実績値	4,799 (時間)
	過去の実績	平成19年度	平成20年度	平成21年度	達成率	93.7%	達成状況	未実施・ <u>未達成</u> ・達成
	(単位: 時間)	4,966	5,035	5,120				
	取組内容	<p>※22年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>前年度に引き続き、会員を臨時職員として雇い入れ事務の効率性と人件費の抑制に努めた。</p> <p>目標値(総時間数)は達成できなかったが、幅広く会員を雇用した。</p>						
	一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>目標達成には至らなかったが、会員の労働能力活用と職員人件費の抑制に取り組むために、今後も会員の働く場の提供とセンター活性化につながるものとして進めていく。</p>						
二次評価	<p>事務局自体の取り組み等についても検討すること。</p>							